

Rotary MAEBASHI WEEKLY REPORT

2018-2019 | インスピレーションになろう *Be the Inspiration*

楽しいロータリークラブを実現しよう

2019. 1. 15(火) 第3119回 例会報告

例会日…火曜日(12:10)～群馬ロイヤルホテル

(第1回 昭和28年9月8日創立)

ホームページ URL <http://www.maebashi-rc.jp/>

電子メールアドレス office@maebashi-rc.gr.jp maebashi@rid2840.jp

会 長…宮崎 瑞穂

幹 事…温井 尚久

クラブ会報委員長…江原 友樹

編 集 者…藏彦 敏之

点 鐘 宮崎会長

ロータリーソング 「我等の生業」

司 会 伊藤副幹事

ビジター

◎米山奨学生 オウ ギョウソウさん
◎前橋国際奨学生 エンゲレル ニヤムダヴァーさん
ファン サンヨンさん

奨学金贈呈 宮崎会長

オウ ギョウソウさん エンゲレルニヤムダヴァーさん ファン サンヨンさん



会長の時間 宮崎会長

皆さん今日は。今週はお正月のため大きな動きはなく、特に報告すべき事項はありません。

早速会長の時間に移ります。

また医療の話で申し訳ありませんが、今日はアドバンス・ケア・プランニング (ACP) についてお話ししましょう。

これは今回の診療報酬に算定が認められるようになり、国も力を入れようとしています。これはどういうものかという病気の診療に当たって患者さん本人や家族と医療者あるいは介護提供者が現在の病気だけでなく、意思決定能力が低下した場合に備えて、あらかじめ終末期を含めた今後の医療や介護について話し合いをする事、さらに意思決定が出来なくなった時に備えて本人に代わって意思決定をする人を決めておくプロセスです。通常は入院の度ごとに、繰り返して、その都度文書に残しておくことになっています。規定では概ね1時間程度の対話が必要とされています。

似たような言葉にリビングウィルや事前指示書という物があります。リビングウィルは病気のあるなしにかかわらず、理性的判断が出来なくなることを想定して自分の終末期の希望を述べておく書類です。少し違います。オーストラリアなどでは代理人を決めておくことが既に法制化されています。

これが必要になったのは日本では高齢化が進み、寿命は男が81歳、女性が87.1歳ですが健康寿命は男72.1歳、女性74.8歳で、寿命との差は男8.8歳、女が12.4歳です。そして認知症は今や462万人で、これは四国4県に長崎県を加えた人口と同じで膨大な数になります。この状況で内閣府が55歳以上の大人を調査したところ9割以上の人が延命のみを目的とした医療を行わ

ず、自然に任せることを希望しています。またちょっと前ですが朝日新聞、読売新聞が行った21歳以上の成人を対象とした調査ではほぼ同様ですが最後まで最大の医療を希望する人も12%いました。

しかし実情は現場では今でも延命医療が行われています。そうなる原因の一つには医師や看護師は生命の維持が至上命令として教育されているからです。日本にはリビングウィルに従って延命治療を中止した場合法的に罰せられない法律がありません。重傷者は特に救急の場合などでは本人の意思が確認できないことが多いので警察沙汰を恐れて延命治療の中止が出来ませんでした。事実、射水市民病院で家族の意向を尊重して人工呼吸器を外した医師が殺人として送検された事件が大きな反響を呼びました。脳死の臓器移植問題とも絡んで医師の中にも反対する人もあり、人工呼吸を行い延命治療を継続することが基本となりました。このような事から、厚生労働省や日本医師会、日本救急医学会などが「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」を作り、昨年には4回目の改訂が行われました。これの要旨は人生の最終段階の医療やケアは十分に説明した上で本人の意思を基本として行う事にして、意思が確認できないときは家族と繰り返して確認することや前もって代理となる人を考えておくことなどを勧めています。家族がいないときや家族に伝える判断は一人だけで行わないで複数の医療関係者からなるチームで扱うように勧めています。このガイドラインに沿って延命治療を中止した場合はまだ法律はないのですが罪に問わない運用が警察・検察庁で行われています。

実はこのような事は11年前に後期高齢者医療保険制度が出来たときに一度出されたことがありました。この時は後期高齢者という名称が非常に不評で時の福田康夫首相は長寿医療制度と名前を変えて使うということになりましたが結局、その名称がそのまま使われています。その時にこのような話し合いをしておくことを義務づけるような政策を厚生労働省が進めたわけですが当時はこれを医療費の節約のために高齢者を早く死なせるためのものという強い批判があり、結局厚労省は撤回しました。ちょうど現在妊婦診療加算が撤回されたようなことです。それで厚労省はすっかり懲りて、高齢者に納得のいくような終末期医療の政策を進めるべきだという意見にもこれは死生観に関わることで法律や政策にはなじまないとして全く手をつける事はしてきませんでした。しかし今回は加算という形で少し推進することにしたわけです。これから入院すると方針を訊かれるようになると思います。

以上の話は主に入院したときの話ですが、それ以外にもまだ判断が出来るときに家族とこのような話し合いをしておく必要があると思います。実際急に病気になったときには本人は意識がなくなってしまって判断が出来ないことも多く、またそのようなときに死に方に対する意見は訊きにくいものです。そしてそのときは仰天して最善を尽くしてほしいといってしまうたりするのです。最善とは何かは人によって違います。一般に医療者や介護者は少しでも死亡を遅らせることが最善と考えがちです。でもそうでないことは先に述べたアンケートの通りです。だから普段から話し合っ、特に可能な限り文書しておくことが望ましいです。それから誰が主として判断するかも考えておく必要があります。紙に書いておかないとこのように言っていたと言っても皆が納得するとは限らず、普段面倒を見ていない親戚などの意見が通ってしまうこともあります。近くにいた人は患者さんの言っていたことが分かっているてもそれを証明できないからです。

また意思が確認してあってもうまくいかないことがあります。ずいぶん昔のことですが、夜、老人保健施設から、入所者が心肺停止で救急搬送されて来ました。救急蘇生は若い医師に任せ私は家族の対応などをしていました。そのようなときは、処置を行っているために治療室から退出して頂くことがほとんどでしたが、私は以前から治療の甲斐なく助けられなかったときに、すべて終わってから、家族と会わせるのは死に目に会わないことになるので、特に重症の終末期は処置を希望すれば見てもらった方が良くと思っていました。それで遠くから見てもらっていました。なんとか心拍が再開しほっとして、ご家族に伝えたところ、どうしてこうしたのかとクレームをつけられました。実は家族は老人保健施設にはこのような場合は蘇生をしないと伝えてあったそうです。こちらとしては一生懸命処置をして助けたつもりなのにクレームになり一気に疲れが出ました。それなら連れてこないでほしかったとか、治療をずっと見ていたのだからその時点で中止を言ってもらえれば良かったと感じました。ご家族は一生懸命治療しているのを蘇生処置と分らなかったのでしょうか。

だから指示はかなり具体的に書いておいた方が良いでしょう。駄目なら簡単に考えても通常 10、0 ではありませんし、何処までやるのかも皆頭の中で考えているのと実際はずいぶん違います。それで書式はいくつかインターネットなどにも載っています。またこの意見はいろいろな状況で変わるのが当然なので、いつでも撤回したり変更したりすることも全く問題はありませぬ。そして主として誰が判断するのかも決めておいた方が良いでしょう。普段あまり関わっていない人がかわいそうだからと簡単に言って、延命処置が始まってしまう、いったん呼吸器などが付くとこれをはずすことは大きなハードルとなります。そしてその後のケアは近くの人がせざるを得ないのですから。

お正月早々シビアな話になってしまいましたが、人間はいつか必ず死にます。そのときに慌てず良い死に方のためにも普段から雑談でも良いから話しておくことが大事だと思います。会長の時間を終わります。

幹事報告 温井幹事

- 1、次回1月22日の例会は、職業奉仕委員会 木村委員長の卓話です。場所は群馬ロイヤルホテルです。
- 2、今月から3月第一例会までの昼間の例会は空調工事の関係で群馬銀行例会場が使用できないため群馬ロイ



ヤルホテルとなります。お間違えの無いようお願いいたします。

副幹事報告 伊藤副幹事

前橋西RC、前橋南RC、沼田RC、伊勢崎東RC、藤岡RC、藤岡南RC、富岡RC、富岡中央RC

出席報告 田部井会員

出席者 76名
欠席者 46名
会員数：122名



本日出席率：66.09%

前々回訂正：66.95%

ニコニコBOX報告 廣瀬委員長

■宮下 学…結婚記念日に色とりどりのお花をいただきました。妻も大変喜んでいました。ありがとうございました。



■藏多 敏之…結婚記念日にきれいなお花をありがとうございました。

■高玉 真光…元日からインフルエンザA型の患者さんが増えています。ワクチン注射をすませてある人でも38℃ほどの発熱があります。抗ウイルス剤がきわめて有効です。早目の受診をおすすめします。

■船越 健志…今日は、NTTグループとして、日頃からお世話になっている"(公財)日本電信電話ユーザー協会"について樋口正弘会員よりご紹介させていただきます。このユーザー協会の群馬支部は、曾我孝之支部長の下、会員の皆様のICTの活用とCS経営のお手伝いを目的に運営されています。今日の機会をきっかけに、会員様の輪が更に広がれば、大変嬉しく思います。

■樋口 正弘…曾我孝之会員が、群馬支部長及び前橋地区会長を務める、(公財)日本電信電話ユーザー協会のチラシを皆様のボックスにお配り致しました。同会では、電話対応を通じた社員研修や会員交流等、様々な事業を沢山の企業様にご利用頂いており、大変喜ばれております。今までご利用の機会が無かった皆様には、ぜひこの機会にご検討頂き、多くの皆様のご利用を頂けますよう、よろしくお願い致します。

■曾我 孝之…今日は、私が紹介者である中島さん柘植さんのお二人が卓話をなさるのを記念して。私が支部長を務めますNTTユーザー協会にぜひご入会下さい。

会員報告 樋口正弘会員



新会員卓話

中島慎太郎会員

柘植信一郎会員



ロータリーの友報告 清水宣彦会員



※クラブ会報は会員の敬称は略させていただきます